

事務事業名		建築確認事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり				担当係	審査係	担当課長名	入江仁一		
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				市単独事業・国県補助事業	市単独事業
	10810	一般	8	1	2	建築確認事務費				任意的事業・義務的事業	義務的事業
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度		根拠法令 条例等	建築基準法				実施方法	直営
										事業分類	許認可・審査事務
										リーディングプロジェクト	該当なし
										市長マニフェスト	該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
建築物等を建築しようとする場合、工事着手前に、その計画が当該建築物の敷地、構造、建築設備及び用途等について法律に適合するものであるか、審査事務を行う。また、当該工事中及び完了した建築物等について、現場の検査業務を行う。			・一年を通じて市内に建築予定の確認申請書の書類を審査し、建築物としての最低限度の基準を満たしているかの判断を行う。 ・週に3～4日程度、完成した建築物の安全性、環境衛生を確保しているか否かの現場検査を実施する。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
確認申請件数			件	331	249	300	300	300			
中間検査実施件数			件	3	11	5	5	5			
完了検査実施件数			件	330	276	279	282	285			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①建築物 ②建築設備(エレベータ、エスカレータ等) ③工作物(看板、携帯電話鉄塔等)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
建築物の確認申請件数			件	311	226	270	270	270			
建築設備の確認申請件数			件	4	6	3	3	3			
工作物の確認申請件数			件	16	17	27	27	27			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
建築物を地震、火災等から守るとともに、都市の機能確保や市街地環境の整備を図る。			建築物の完了検査実施件数/建築物確認件数	%	104	118	93	94	95		
			建築設備の完了検査実施件数/建築設備確認件数	%	75	67	93	94	95		
			工作物の完了検査実施件数/工作物確認件数	%	31	35	93	94	95		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
法令に基づく申請等が行われている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
完了検査率			%	-	110.8	93.0	94.0	95.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	3,953	5,029	3,340	3,340	3,340			
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	3,953	5,029	3,340	3,340	3,340			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			共済費	125	共済費	150	旅費	92	旅費	92
			賃金	935	賃金	1,199	需用費	910	需用費	910
旅費			47	旅費	79	役務費	2,210	役務費	2,210	
需用費			658	需用費	661	負担金、補助及び交付金	120	負担金、補助及び交付金	120	
役務費			2,135	役務費	2,889	公課費	8	公課費	8	
備品購入費			26	負担金、補助及び交付金	44					
負担金、補助及び交付金			19	公課費	8					
公課費	8									
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4			
	のべ業務時間	時間	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000			
人件費計(B)	千円	27,237	27,587	27,587	27,587	27,587				
トータルコスト(A)+(B)	千円	31,190	32,616	30,927	30,927	30,927				

事務事業名	建築確認事務	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課	担当係	審査係
-------	--------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年度から佐野市で特定行政庁開設に伴って行うこととなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	自治事務として行う市が増えている。耐震偽装事件による建築基準法の改正に併せ、建築士法・かし担保履行法等も改正されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	事務処理機関の短縮。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
やり方改善(成果向上の見直し)	県南4市(足利市、栃木市、小山市、佐野市)で検討会を開催し、法の解釈について統一を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	建築基準法に基づいた規制により、住環境の整備や住民の安全・財産の保護につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	自治事務であると同時に、市のまちづくりの基本理念を推進するためには必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	特になし。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	現在の完了検査率の目標を100%にすることで、計画建築物が適正に工事が行われたか確認することができる。それには、建築設計事務所や建築主に対して完了検査を受けるように促すために、通知や電話にて督促をする必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費・人件費とも必要最低限で行っているため削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	申請者からの手数料で行うので公平である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	自治事務であるため、休止・廃止は不可能である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) パトロールを実施し、建築工事の進捗状況を把握する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	建築確認した後も着工、完了と現地を確認する必要がありますので、事務量の増加が予想される。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			